

JNNデータバンク

媒体接触、生活意識・行動、商品保有状況など
民間では最大・最長の生活者実態調査データベースです。

自宅の防災・防犯対策、どれくらいしてる？

いつ起こるか分からない自然災害、時代と共に進化している犯罪の手口。
皆様はこれらについての対策をおこなっていますでしょうか？

今回は自宅の防災・防犯対策について、JNNデータバンク調査から
最初に調査した2004年と最新2022年のデータを比べて見ていきたいと思ひます。



【次の中の防犯・防災対策について、あなたあるいはお宅でしていることがあれば、いつでもお知らせください。（%）複数回答】



調査数	＜防災＞家具など転倒防止のための固定	＜防災＞非常用の食料・飲料の常備	＜防災＞非常用持ち出し品の準備	＜防災＞消火器や消火器具の準備、設置	＜防災＞ガス漏れ警報器の設置	＜防犯＞ホームセキュリティとの契約をしている、検討している	＜防犯＞自分で防犯ブザーを携帯する、または家族に携帯させる	＜防犯＞窓の補強（2重窓、防犯フィルムなど）	＜防犯＞不審な侵入者を知らせる防犯カメラ、ブザーなどの設置	＜防犯＞テレビドアホン（モニター付きドアホンの設置）	＜防犯＞窓の鍵の補強（2重ロック、補助鍵、防犯鍵など）	＜防犯＞玄関ドアの鍵の補強（2重ロック、補助鍵、防犯鍵など）
2004年	7407	14.5	18.3	29.3	42.2	3.8	7.5	8.3	9.1	12.6	16.8	35.4
2022年	7400	24.1	37.1	21.3	38.1	4.5	8.1	14.4	10.7	48.8	19.2	44.8

まず＜防災＞関連項目を2004年と2022年で比較してみると「非常用持ち出し品の準備」は14.0%の上昇、「非常用の食料・飲料の常備」は18.8%の上昇となりました。

今ではネットショッピングやホームセンターで防災セットを手軽に購入できる為、東日本大震災以降に防災意識が高まり、数字の上昇に影響しているのかもしれませんが。

次に＜防犯＞関連項目で見ると「テレビドアホン（モニター付きドアホン）の設置」が2004年から2022年で36.2%も上昇しており、約半数のお宅に設置されているという結果になりました。

インターホンの先に見える人物が見えることにより不審者との接触を防げたり、不要な対応を減らせることから防犯対策としての需要が増えてきたのかと思います。

全体を見てほとんどの項目で数字が上昇していたことから、防災・防犯に対する意識が近年強まっているようです。災害や犯罪にはいつ巻き込まれるかわかりません。出来る準備はしておきたいものですね。

データ元 : JNNデータバンク定例全国調査 2004年、2022年11月調査
男女年代別データ : 男女13～69歳 n=約7,400

JNNデータバンク調査概要 <https://www.jds.ne.jp/database01/j/>

企画・実施: JNNデータバンク運営委員会

販売:  株式会社ジェーディーエス TEL : (03)5005-0664 URL: <https://jds.ne.jp/>